

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成22年12月16日(2010.12.16)

【公表番号】特表2010-515151(P2010-515151A)

【公表日】平成22年5月6日(2010.5.6)

【年通号数】公開・登録公報2010-018

【出願番号】特願2009-544024(P2009-544024)

【国際特許分類】

G 06 F 9/445 (2006.01)

【F I】

G 06 F 9/06 6 5 0 B

【手続補正書】

【提出日】平成22年10月6日(2010.10.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

計算装置であって、

記憶装置に接続するように構成されたインターフェイスと、

プロセッサであって、

前記記憶装置が前記計算装置に結合される時に前記記憶装置に格納されている複数のコンフィギュレーション命令に関連付けられている複数のコンフィギュレーションのうちからコンフィギュレーションを選択し、

前記コンフィギュレーションに関連付けられているコンフィギュレーション命令を前記記憶装置から取り出し、

前記計算装置に格納されている複数のプログラムアプリケーションのうちの1つを起動し、前記起動されているプログラムアプリケーションは前記コンフィギュレーション命令に関連付けられ、かつ

前記コンフィギュレーション命令を前記プログラムアプリケーションに送るように操作可能なプロセッサと、

を備える計算装置。

【請求項2】

請求項1記載の計算装置において、

前記コンフィギュレーションは、前記計算装置に格納されている情報に基づいて選択される計算装置。

【請求項3】

請求項2記載の計算装置において、

前記情報は、ディスプレイのスクリーンサイズである計算装置。

【請求項4】

請求項1記載の計算装置において、

前記計算装置は、携帯電話である計算装置。

【請求項5】

請求項1記載の計算装置において、

前記コンフィギュレーション命令は、前記プログラムアプリケーションに関連付けられたパラメータである計算装置。

**【請求項 6】**

請求項 1 記載の計算装置において、

前記コンフィギュレーション命令は、前記プログラムアプリケーションに関連付けられたコマンドである計算装置。

**【請求項 7】**

請求項 1 記載の計算装置において、

前記コンフィギュレーション命令はコンフィギュレーションファイルに格納され、前記コンフィギュレーションファイルは前記コンフィギュレーションに関連付けられる計算装置。

**【請求項 8】**

請求項 1 記載の計算装置において、

前記記憶装置は、前記複数のコンフィギュレーションに関連付けられている複数のコンフィギュレーション命令を記憶するように構成される計算装置。

**【請求項 9】**

請求項 1 記載の計算装置において、

前記プログラムアプリケーションは、前記記憶装置が前記計算装置に結合された後に起動される計算装置。

**【請求項 10】**

プログラムアプリケーションを起動するための方法であって、

計算装置で実行するステップであって、

記憶装置が前記計算装置に結合される時に前記記憶装置に格納されている複数のコンフィギュレーション命令に関連付けられている複数のコンフィギュレーションのうちからコンフィギュレーションを選択するステップと、

前記コンフィギュレーションに関連付けられているコンフィギュレーション命令を前記記憶装置から取り出すステップと、

前記計算装置に格納されている複数のプログラムアプリケーションのうちの 1 つを起動するステップであって、前記起動されているプログラムアプリケーションは前記コンフィギュレーション命令に関連付けられるようにした起動するステップと、

前記コンフィギュレーション命令を前記プログラムアプリケーションに送るステップと、を計算装置で実行するステップを含む方法。

**【請求項 11】**

請求項 10 記載の方法において、

前記コンフィギュレーションは、前記計算装置に関連付けられている情報に基づいて選択される方法。

**【請求項 12】**

請求項 10 記載の方法において、

前記情報は、前記計算装置においてホストされる 1 つのタイプのオペレーティングシステムである方法。

**【請求項 13】**

請求項 10 記載の方法において、

前記コンフィギュレーション命令は、前記プログラムアプリケーションに関連付けられたパラメータである方法。

**【請求項 14】**

請求項 10 記載の方法において、

前記コンフィギュレーション命令は、前記プログラムアプリケーションに関連付けられたコマンドである方法。

**【請求項 15】**

請求項 10 記載の方法において、

前記コンフィギュレーション命令はコンフィギュレーションファイルに格納され、前記コンフィギュレーションファイルは前記コンフィギュレーションに関連付けられる方法。

**【請求項 16】**

請求項10記載の方法において、

前記プログラムアプリケーションは、前記記憶装置が前記計算装置に結合された後に起動される方法。

**【請求項 17】**

プログラムアプリケーションを起動するための方法であって、

計算装置で実行するステップであって、

記憶装置が前記計算装置に取り外し可能に結合されることを示すメッセージを受け取るステップと、

前記記憶装置に格納されている複数のコンフィギュレーション命令に関連付けられてい  
る複数のコンフィギュレーションのうちからコンフィギュレーションを選択するステッ  
プと、

前記複数のコンフィギュレーション命令のうちから、前記選択されたコンフィギュレ  
ーションに関連付けられている1つ以上のコンフィギュレーション命令を取り出すステッ  
プと、

前記コンフィギュレーションに関連付けられている前記1つ以上のコンフィギュレー  
ーション命令のうちからのコンフィギュレーション命令のセレクションを受け取るステッ  
プと、

前記計算装置に格納されている複数のプログラムアプリケーションのうちの1つを起  
動するステップであって、前記起動されているプログラムアプリケーションは前記コンフ  
ィギュレーション命令に関連付けられるようにした起動するステップと、

前記選択されたコンフィギュレーション命令を前記プログラムアプリケーションに送  
るステップと、を計算装置で実行するステップを含む方法。

**【請求項 18】**

請求項17記載の方法において、

前記コンフィギュレーション命令はメニューから選択され、前記メニューは前記コンフ  
ィギュレーション命令に関連付けられている前記1つ以上のコンフィギュレーション命令を選  
択するために表示するように構成される方法。

**【請求項 19】**

請求項17記載の方法において、

前記コンフィギュレーションは、前記計算装置に関連付けられている情報に基づいて選  
択される方法。

**【請求項 20】**

請求項17記載の方法において、

前記コンフィギュレーション命令は、前記プログラムアプリケーションに関連付けられ  
たパラメータである方法。

**【請求項 21】**

請求項17記載の方法において、

前記コンフィギュレーション命令は、前記プログラムアプリケーションに関連付けられ  
たコマンドである方法。

**【請求項 22】**

請求項17記載の方法において、

前記コンフィギュレーション命令はコンフィギュレーションファイルに格納され、前記コンフ  
ィギュレーションファイルは前記コンフィギュレーションに関連付けられる方法。

**【請求項 23】**

請求項17記載の方法において、

前記コンフィギュレーション命令は、前記プログラムアプリケーションがテキストを表  
示することを可能にするように構成される方法。

**【請求項 24】**

プログラムアプリケーションを起動するための方法であって、  
計算装置で実行するステップであって、

記憶装置が前記計算装置に結合されることを示すメッセージを受け取るステップと、  
前記計算装置から情報を受け取るステップと、

前記情報に基づいて前記記憶装置に格納されている複数のコンフィギュレーション命令に関連付けられている複数のコンフィギュレーションのうちからコンフィギュレーションを選択するステップと、

前記記憶装置から前記コンフィギュレーションに関連付けられている1つ以上のコンフィギュレーション命令を取り出すステップと、

前記1つ以上のコンフィギュレーション命令のうちからのコンフィギュレーション命令のセレクションを受け取るステップと、

複数のプログラムアプリケーションのうちの1つを前記コンフィギュレーション命令に  
関連付けるステップと、

前記コンフィギュレーション命令に関連付けられている前記プログラムアプリケーションを起動するステップと、

前記コンフィギュレーション命令を前記プログラムアプリケーションに送るステップと  
、を計算装置で実行するステップを含む方法。

#### 【請求項25】

請求項24記載の方法において、

前記コンフィギュレーション命令はメニューから選択され、前記メニューは前記コンフィギュレーションに関連付けられている前記1つ以上のコンフィギュレーション命令を選択するために表示するように構成される方法。

#### 【請求項26】

請求項24記載の方法において、

前記複数のコンフィギュレーション命令は複数のコンフィギュレーションファイルに格納され、前記複数のコンフィギュレーションファイルの各々はそれぞれ異なるコンフィギュレーションに関連付けられる方法。

#### 【請求項27】

請求項24記載の方法において、

前記プログラムアプリケーションは、前記第1の記憶装置が前記計算装置に結合された後に起動される方法。

#### 【請求項28】

請求項24記載の方法において、

前記メッセージは、前記計算装置においてホストされるオペレーティングシステムから送られる方法。